

そうけい、いま、つくってます！！



特集

神戸女学院大学にて、授業を行いました！

なぜ大学生に対してアプローチ？

総合計画の策定において、市民の意見を取り入れていくことは重要です。しかし、特に若者の声はなかなか聞こえてこない現状があります。

芦屋市では昨年度から、包括連携協定を結ぶ大学での授業を行い、総合計画や市民参画の周知啓発に力を入れています。

今回は、神戸女学院大学での授業内容についてご紹介します。

総合計画と市民との協働

今年度初めての大学での授業は、6月20日(金)に神戸女学院大学で実施しました。

授業の前半では、芦屋市の総合計画をテーマに、市民と行政の協働について講義を行いました。人口減少の進行など多くの行政課題が顕在化している中、市民と一緒に課題解決の方法を考え、「納得解」を見つけていくことが重要であると説明しました。

地域福祉のイントロダクション

授業の後半では、大学からの要望に応じて地域福祉課の職員が地域福祉についての授業を行いました。

地域福祉の概要や福祉制度の変遷、制度の狭間に存在する問題などを紹介し、さらに、芦屋市の地域福祉計画や実際の取組例などを説明しました。

地域にはどんな人がいるのか、どんな困りごとがあるのか、そしてそのために何が必要かという観点から、学生自身が地域福祉について考える機会になりました。



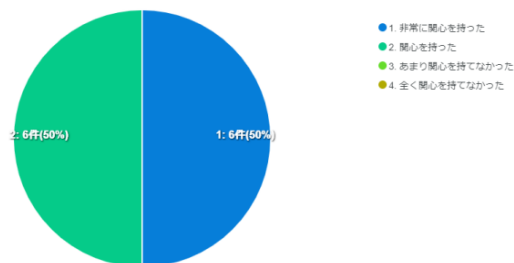
授業アンケートの結果

授業後には、芦屋市の総合計画に関する授業アンケートを実施しました。

授業の進め方に関して、「大変適切だった」が75%、「適切だった」が25%という結果でした。

また、総合計画については、「非常に関心を持った」が50%、「関心を持った」が50%という結果となりました。

関心について[授業を受けて総合計画について、関心を持ちましたか？]



さらに、授業の後半で説明を行った地域福祉については、「非常に関心を持った」が67%、「関心を持った」が33%という結果となりました。

学生からは、「若者の声や意見を必要としていることがよく分かった」「芦屋市が他にどんな事業を行っているか気になった」といった意見が聞かれ、今回の講義が、学生にとって総合計画や地域の取組に関心を持つきっかけとなったことが分かりました。

次回は、大手前大学での動画作成オリエンテーションについてご紹介します！

現行の芦屋市総合計画はこちら
・第5次総合計画前期基本計画
(第2期創生総合戦略)



前回までのバックナンバーはこちら

